

管路施設の硫化水素対策の実施および点検状況に関する調査(第 4 回)の結果について

下水道施設のストックの増加に伴い、硫化水素の発生に起因する下水道コンクリート構造物の劣化が顕在化してきており、早急な対策が求められています。

このため、平成 19 年 9 月には地方公共団体に対して、圧力管の吐出口など硫化水素が発生しやすい箇所において、調査点検を実施し、その結果を踏まえて早急に対策を実施するようお願いしています。

この度、地方公共団体より報告された、圧送管の吐出口における第 4 回目の点検状況調査結果（平成 21 年 3 月末現在）を取りまとめたので公表します。

調査結果（平成 21 年 3 月末現在）

- ・前回(平成 20 年 9 月末)未点検だった管きょ施設約 180 箇所のうち、約 80 箇所(約 5 割)で点検を実施。
- ・前回(平成 20 年 9 月末)未対策だった管きょ施設(レベル A)37 箇所のうち、12 箇所(約 3 割)で対策を実施。

国土交通省としては、地方公共団体に対し、未点検管路及び危険性の高い未対策管路について、具体的な点検・対策計画を定め、早急に対応していただくよう、引き続き要請していきます。

※調査対象施設

圧送管の延長 500m 以上の吐出先マンホール（着水井）及びその下流 1 スパンにおける下水道管・マンホール

管路施設の硫化水素対策の実施及び点検状況に関する調査結果

単位:箇所 (平成21年3月末時点)

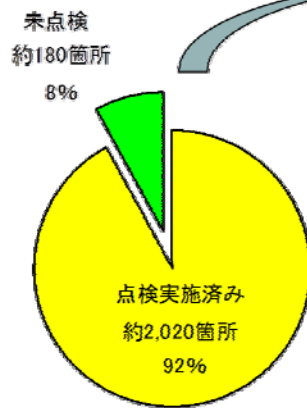
都道府県番号	都道府県名	前回未点検	今回点検状況		前回未対策 (レベルA)	今回対策状況(レベルA)	
			実施済	未実施		実施済	未対策
1	北海道	12	5	7	1	0	1
2	青森県	2	1	1	0	0	0
3	岩手県	0	0	0	0	0	0
4	宮城県	3	3	0	3	3	0
5	秋田県	11	1	10	0	0	0
6	山形県	0	0	0	0	0	0
7	福島県	4	4	0	0	0	0
8	茨城県	22	13	9	5	2	3
9	栃木県	10	10	0	0	0	0
10	群馬県	1	1	0	0	0	0
11	埼玉県	0	0	0	1	1	0
12	千葉県	6	0	6	2	0	2
13	東京都	3	2	1	0	0	0
14	神奈川県	3	1	2	1	1	0
15	山梨県	3	1	2	0	0	0
16	新潟県	0	0	0	2	1	1
17	富山県	0	0	0	0	0	0
18	石川県	0	0	0	0	0	0
19	長野県	1	1	0	0	0	0
20	岐阜県	2	0	2	0	0	0
21	静岡県	2	1	1	1	0	1
22	愛知県	0	0	0	0	0	0
23	三重県	8	1	7	0	0	0
24	福井県	0	0	0	0	0	0
25	滋賀県	3	3	0	0	0	0
26	京都府	3	2	1	1	0	1
27	大阪府	2	1	1	1	0	1
28	兵庫県	12	12	0	0	0	0
29	奈良県	0	0	0	0	0	0
30	和歌山県	3	1	2	0	0	0
31	鳥取県	9	6	3	0	0	0
32	島根県	13	0	13	0	0	0
33	岡山県	6	0	6	5	3	2
34	広島県	8	2	6	1	1	0
35	山口県	4	1	3	0	0	0
36	徳島県	1	0	1	0	0	0
37	香川県	2	2	0	0	0	0
38	愛媛県	0	0	0	1	0	1
39	高知県	1	1	0	0	0	0
40	福岡県	9	3	6	1	0	1
41	佐賀県	1	1	0	0	0	0
42	長崎県	0	0	0	6	0	6
43	熊本県	1	0	1	0	0	0
44	大分県	0	0	0	0	0	0
45	宮崎県	0	0	0	0	0	0
46	鹿児島県	0	0	0	0	0	0
47	沖縄県	13	3	10	5	0	5
合計		184	83	101	37	12	25

管路施設の硫化水素対策の実施及び点検状況に関する調査結果

点検実施状況

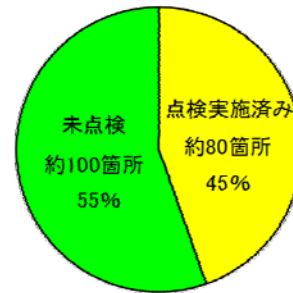
第3回報告(平成20年9月末時点)

第4回報告(平成21年3月末時点)



調査対象施設件数 約2,200箇所

未点検箇所を
ピックアップ



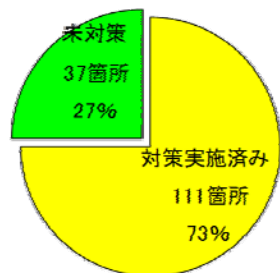
前回未点検箇所 約180箇所

前回、点検が未実施だった管路施設の内、約80箇所(約5割)で点検を実施。

対策実施状況

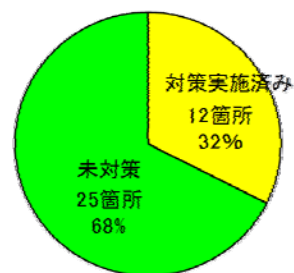
第3回報告(平成20年9月末時点)

第4回報告(平成21年3月末時点)



腐食件数(レベルA) 147箇所

未対策箇所を
ピックアップ



前回未対策箇所 37箇所

前回、対策が未実施だった管路施設(レベルA)の内、12箇所(約3割)で対策を実施。